

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

第 140 号

(2004年 8月)

平成 16 年 11 月 24 日発行

ヒト由来細菌情報

医療機関からの患者発生届けに伴う関係者調査を実施したところ赤痢菌、腸管出血性大腸菌が検出された。感染症発生動向調査検査定点からの検体検査では病原血清型大腸菌、カンピロバクターが検出された。他府県関連の食中毒検査では腸炎ピブリオが検出され、依頼検便では腸管出血性大腸菌が検出された。

食品由来細菌情報

集団発生情報参照。

環境由来細菌情報

河川水腸管系病原菌調査で O1 & O139 以外のコレラ菌、サルモネラが検出された。浴槽水および河川水からはレジオネラが検出された。

集団発生情報

* 腸管出血性大腸菌 (O157 *stx2*) を原因とする集団事例が発生した。ヒト (504 件) および食品 (10 件) の調査を行ったところ、ヒト (17 件) より腸管出血性大腸菌 (O157 *stx2*) が検出された。

* 8 月に県内では腸炎ピブリオを原因とする食中毒様事例が 4 件、黄色ブドウ球菌を原因とする事例が 1 件発生した。

藤沢保健所管内の事例については藤沢および茅ヶ崎保健所で調査した。ヒト (11 件) および食品 (14 件) の調査を行ったところ、ヒト (発症者 4 件) および食品 (1 件) より耐熱性溶血毒素 (TDH) 産生の腸炎ピブリオが検出された。ヒト由来株は血清型 O3:K6 (1 件)、O4:K55 (1 件)、O3:K6、O4:K55 の同時検出 (1 件) および O1:K25 (1 件)、食品由来株は血清型 O1:K25 の TDH 産生株と、TDH 非産生株の O3:K6 が同時検出 (1 件) された。

藤沢保健所管内の別事例ではヒト (7 件) および食品 (14 件) の調査を行ったところ、ヒト (発症者 3 件) より O3:K6 (TDH 産生株) が検出された。食品からは O4:K11 (TDH 非産生株) が 2 件検出された。

小田原保健所管内の事例ではヒト (7 件) の調査を行ったところ、ヒト (発症者 4 件) より O3:K6 (TDH 産生株) が検出された。

小田原保健所管内の別事例ではヒト (23 件) および食品 (27 件) の調査を行ったところ、ヒト (発症者 3 件) より O3:K6 (TDH 産生株) が検出された。食品からは O1:UK (TDH 非産生株) が 1 件検出された。

黄色ブドウ球菌の事例は厚木および大和保健所で食品 (弁当) 1 件、ヒト (便 2 件、吐物 9 件) 11 件の調査を行ったところ、食品 1 件、ヒト (便 1 件、吐物 4 件) 5 件からコアグラゼ 型、エンテロトキシン A 型が検出された。

* 8 月に県内で発生した食中毒様事例のうち 1 事例において、便 14 検体について検査したところ、患者 3 検体から遺伝子検出法でノロウイルスが検出された。

ウイルス情報

手足口病患者から、コクサッキーウイルス A16 型および未同定株 (同定中) が分離された。

無菌性髄膜炎患者からコクサッキーウイルス B1 型、B4 型、B5 型およびエコーウイルス 6 型が分離された。

(微生物部・地域調査部)

特 集

2003/2004 年シーズンのインフルエンザの流行について

2003/2004 年のインフルエンザシーズンは、主にインフルエンザウイルス A 香港 (H3) 型が 12 月から 3 月にかけて流行しました。神奈川県域では 12 月 9 日 (第 50 週) にインフルエンザウイルス A 香港 (H3) 型が分離され、年が明けた 1 月 (第 5 週) には同 B 型が分離されました。

かぜ様患者のウイルス分離状況

2003/2004 年のインフルエンザシーズンには、神奈川県域の、かぜ様患者 253 人の病原体検査を実施し、インフルエンザウイルス A 香港 (H3) 型 174 株、同 B 型 3 株が分離されました。なお、分離率は 70% でした。また、集団かぜ患者からコクサッキーウイルス B 1 型も重複して分離されました。

インフルエンザウイルス検査は表 1 に示すとおり、集団かぜ、病原体定点医療機関におけるインフルエンザ様患者、インフルエンザ脳症疑い患者について実施しました。

表 1 2003/2004 年インフルエンザシーズンにおけるかぜ様患者からのウイルス分離状況

	集団 かぜ	インフルエンザ様患者 (病原体定点医療機関)	インフルエンザ脳症疑い	合 計
検査数	43	208	2	253
インフルエンザ AH3	19	155	0	174
インフルエンザ B	0	3	0	3
分離数	19	158	0	177
分離率(%)	44	76	0	70

集団かぜ；コクサッキーウイルス B 1 型が重複分離

集団かぜ調査

横須賀市、相模原市および県域の各保健所管内初発集団かぜ (10 集団 43 名) について病原体検索を行いました。12 月 (50、51 週) に 3 集団、1 月 (3、4、5 週) に 7 集団の検査依頼があり、いずれの集団もインフルエンザウイルス A 香港 (H3) 型に起因していると考えられました。また、12 月の集団かぜ患者のうち 1 名からは、A 香港 (H3) 型とともにコクサッキーウイルス B 1 型も重複して分離されました。(表 1,2 参照)

表2 2003/2004年 集団かぜ調査

発生管内保健所名	発生日	週	検査検体数	分離数	ウイルス型
鎌倉	12/9	第50週	4	3	AH3
茅ヶ崎*	12/17	第51週	5	3	AH3
大和	12/18	第51週	5	4	AH3
相模原市	1/14	第3週	5	0	
津久井	1/15	第3週	4	1	AH3
藤沢	1/15	第3週	5	2	AH3
秦野	1/19	第4週	3	2	AH3
小田原	1/20	第4週	4	3	AH3
横須賀市	1/20	第4週	5	1	AH3
三崎	1/28	第5週	3	0	
計			43	19	

*コクサッキーウイルスB1型が重複分離

病原体定点ウイルス調査

感染症発生動向調査病原体定点で採取されたインフルエンザ様疾患患者の咽頭ぬぐい液208検体についてウイルス分離を実施したところ、インフルエンザウイルスA香港(H3)型155株、同B型3株が分離されました。(表1参照)

神奈川県(横浜市・川崎市を除く)の定点あたり患者数は感染症発生動向調査によると49週(12月1日~7日)から報告が始まり、同時に検査依頼も始まりました。集団かぜでは50週にウイルス分離されましたが、病原体定点の検体からは51週にウイルス分離されました。定点あたり患者数が5週(1月下旬)にピークを示すのと同様に、病原体定点からのインフルエンザ様疾患患者の検査依頼数も5週にピークを示しました。その後定点あたり患者数が減少するのと平行して検査依頼数も減少しました。

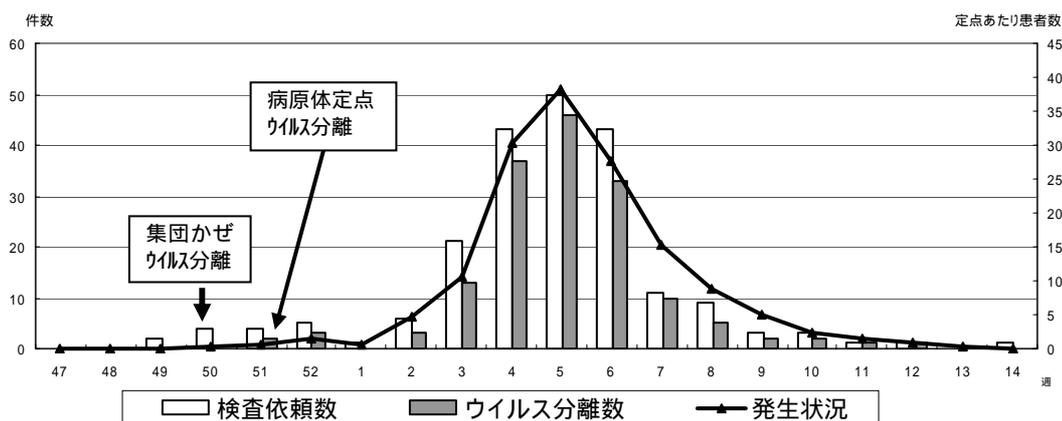


図3 インフルエンザ発生状況および病原体定点ウイルス調査状況

(企画情報部・微生物部)

表1 ヒト由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別)

(平成16年8月)

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数	574	350	420	2018	397 (2)	121	328	525 (1)	169	228	293	5423 (3)	88	5511 (3)
赤痢菌 D群					1							1		1
腸管出血性大腸菌				19	1			2				22		22
病原血清型大腸菌													1	1
サルモネラ O4群				1								1		1
カンピロバクター ジェジュニー													1	1
腸炎ピブリオ			6	8	2		2	2	2		2	24		24
黄色ブドウ球菌								3	2			5		5

()は海外渡航

平成16年8月、ヒト由来の検体5,511件を検査した。

医療機関からの患者発生届けに伴う関係者調査を行い、厚木保健所で腸管出血性大腸菌(0157 *stx2*)が2件、小田原保健所で腸管出血性大腸菌(0157 *stx1,2*)が1件、茅ヶ崎保健所で赤痢菌(D群)1件および腸管出血性大腸菌(0157 *stx1*)が1件検出された。

小田原保健所管内の保育園で発生した集団感染事例調査において、ヒト17件より腸管出血性大腸菌(0157 *stx2*)が検出された。またサルモネラO4群(血清型Typhimurium)も1件検出された。

腸炎ピブリオを原因とする食中毒様事例が藤沢保健所管内で2事例、小田原保健所管内で1事例みられた。藤沢保健所管内の事例については藤沢および茅ヶ崎保健所管内で調査され、発症者4件から血清型03:K6(1件)、04:K55(1件)、03:K6,04:K55の同時検出(1件)および01:K25(1件)の耐熱性溶血毒素(TDH)産生株が検出された。

藤沢保健所管内の別事例の調査では、発症者3件から03:K6(TDH産生株)が検出された。

小田原保健所管内の事例では、発症者4件から03:K6(TDH産生株)が検出された。

小田原保健所管内の別事例では、発症者3件から03:K6(TDH産生株)が検出された。

黄色ブドウ球菌を原因とする事例は厚木、大和保健所管内で調査され、発症者便1件、吐物4件からコアグラゼ型、エンテロトキシンA型の黄色ブドウ球菌が検出された。

他府県関連の食中毒検査や有症苦情調査で小田原保健所では腸炎ピブリオ03:K6(TDH産生株)1件、厚木、津久井、大和、秦野保健所でそれぞれ2件の03:K6が検出された。

小田原保健所で依頼検便から腸管出血性大腸菌(0157 *stx2*)1件が検出された。

検査定点より依頼のあった感染性胃腸炎患者便2件を検査したところ、病原血清型大腸菌(血清型01)1件、カンピロバクター(*C.jejuni*)1件が検出された。

表2 食品由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別)

(平成16年8月)

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数	8	15	48	92	24	12	10	25	13	20	7	274	32	306
黄色ブドウ球菌								1				1		1
腸炎ピブリオ			4	1								5		5

平成16年8月、食品由来の検体306件を検査し、食中毒様事例の55検体から腸炎ピブリオが検出された。腸炎ピブリオの血清型は01:K25 (TDH産生株)と03:K6 (TDH非産生株)を同時検出(1件)、04:K11 (TDH非産生株)が2件(いずれも藤沢保健所)および01:UK (TDH非産生株)が1件(小田原保健所)検出された。また、厚木保健所管内の食中毒検査で弁当から1件黄色ブドウ球菌(コアグラゼ 型、エンテロトキシンA型)が検出された。

表3 環境由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別)

(平成16年8月)

	平塚保健所	鎌倉保健所	藤沢保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	小計	衛生研究所	合計
取り扱い検査件数		13	31	103	2		19	4	18	3		193	109	302
O1 & O139以外のコレラ菌													9	9
サルモネラ O4群													4	4
レジオネラ ニューモフィラ 5群							1	2				3		3
レジオネラ ニューモフィラ 6群								2				2		2

平成16年8月、県内定点10ヶ所の河川水腸管系病原菌調査を実施したところ、O1 & O139以外のコレラ菌 (*V. cholerae* non O1 & O139) 9件、サルモネラO4群 (2件) およびO4群 (血清型 Agona) (2件) が検出された。

浴槽水3件(厚木, 秦野保健所)から血清型5群, 6群同時検出 (2件) および5群 (1件) のレジオネラ (*L. pneumophila*) が検出された。

表4 ウイルス検出状況(月別)

(平成16年 9月30日現在検出分)

月 検出ウイルス	平成 15 年計	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	平成 16 年 累計
インフルエンザ AH3	92	4						159
インフルエンザ B	27							3
パラインフルエンザ 3						1		1
コクサッキー A4	5					4		4
コクサッキー A6	1				2	1		3
コクサッキー A9					1			1
コクサッキー A10	8							
コクサッキー A12	9							
コクサッキー A16						3	1	4
コクサッキー B1	4						2	2
コクサッキー B2	1							
コクサッキー B4							1	1
コクサッキー B5							1	1
エコー 6	1						1	1
エコー 14	1							
エコー 18			2	1		4		7
エンテロ 71	6							
ムンプス	2		1					1
アデノ 1	1							
アデノ 3	1			1	1	3		5
アデノ 4	3							
アデノ 40/41					1			1
アデノ(型未決定)	1							
口 夕	10	2						3
小 型 球 形	25							
ノ 口	145	20	21		2		3	118
未 同 定	1					1	4	5
合 計	344	26	24	2	7	21	13	324

表5 ウイルス検出状況(疾患別)

(平成16年 9月30日現在検出分)

疾患名 検出ウイルス	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	ヘル パン ギー ナ	イン フル エン ザ 様	咽 頭 結 膜 熱	流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	急 性 脳 炎	食 中 毒	デ ン グ 熱	そ の 他	合 計
取り扱い検査件数		2	1				9	2	14		2	30
コクサッキー A16		1										1
コクサッキー B1							2					2
コクサッキー B4							1					1
コクサッキー B5							1					1
エコー 6							1					1
ノロ									3			3
未同定		1	1					1			1	4

平成16年8月、県内で発生した食中毒様事例のうち1事例において、従業員便11検体、患者便3検体について検査したところ、患者3検体から遺伝子検出法でノロウイルスが検出された。

検査定点からの依頼によるもの
手足口病患者の咽頭拭い液2検体から、コクサッキーウイルスA16型および未同定株（同定中）が分離された。

無菌性髄膜炎患者7件14検体（髄液7，咽頭拭い液4，糞便3）について検査したところ、2件からコクサッキーウイルスB1型、1件から同B4型、1件から同B5型、1件からエコーウイルス6型が分離された。